昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）

いわき民報
平市印町四八　電三八一番
編輯兼發行人　千葉克巳
兼印刷人
日刊（但月曜を除く）
定價一月四十円
一部一円五十錢
發行所　社報いわき民報

看護婦殺し元自首

兇行當夜東京都中野署へ
身柄は昨夜平市署へ護送

【既報】盆踊りに賑う短夜の然も平署目前の獵奇的殺人事件―日本醫療團平病院看護婦根本ツルさん（二五）殺しの犯人、全病院入院中の六號室患者市内仲間町五六元原龍雄こと元得龍（二八）は兇行當日の夜二十一日夜七時ころ東京都中野警察署へ自首したので折から追跡出京中の平市署新妻、眞野兩刑事は直に元の引渡しを受け二十二日夜九時三十七分平着列車で歸署留置したが驛頭は殺人犯歸るで百數十名の人だかりで押合い通り場もない程混雜を極めた

友人の東大生に進められて自首

犯人元は兇行後直ちに平發午前三時五十五分の夜行列車で東京へ高飛びしたがその足で友人の中野區打越町東大生金城正武君（二九）方を訪れて一切を告白した上君の進めで自首したもの、なお平市署に連行された元はいくらか顔に赤味をおびしようすいしているものゝさすがに興奮して頬は紅潮していたが外部的に病狀の惡化は見られないので平病院高萩醫師の診斷を受けた後直に縣刑事部菊地鑑識課長、本田市署長、金田司法主任等が取調べを開始した

元とツルさんの馴れそめ

病院生活の不自由さの同情から

元とツルさんの關係は昨年十月十日元が肺を患い平病院に入院した當時派出看護婦として看護に當った關係からいつか親しくなり互に同情し合って、とかく不自由がちな病院生活の事とて根本さんが遇に一回歸郷して持ってくる餅やウドン野菜等を分ち合っていたのが何時しか深い戀愛關係となり、果ては昨年暮頃からは肉体關係を結ぶに至ったもので一度は夫婦の約束までした仲であった、しかし經つ月日と共に根本さんには他にホールで知り逐った男性も出現して秋風が立ち、病が次第に快方に向いつゝあった元をいらだたせ時折りの元の求婚には「あなたが朝鮮人でもあり又病弱の爲に父母が許さない」と言う仕末に未來えの夢も破られ元は最近は悶々の日を送っていたのであった

最初は無理心中の肚

秋風立ち初めたツルさんに思い余って惱みぬいた犯人

兇行の二十日夜は十一時頃當の根本さんが同院の高萩醫師と連れ立って盆踊りに出る後姿を發見、日頃の想いと共に嫉妬心をかきたてられ、二十一日一時すぎに歸宅した根本さんを部屋で待ち受け、その夜の行動を難詰したが、ツルさんが誘うまゝにそのまゝ盆踊見物に連立って出かけて歩きつゝツルさんが十八日廣野町の實家へ歸った際、親から縁談が持ち出されたと語ったりしたことからいよ〳〵惡夢は元をのっぴきならぬところまで追い込み歸院後元は一切死によってこの悲戀を解決しようとツルさんに持ちかけたがはねつけられたばかりかツルさんが翌朝早く親元へ行って全部を打明け又婦長にも話すから病院から出てくれという仕末で一旦六號室の自分の部屋へ歸って庖丁をワイシャツを破って卷いて二時半ころ再び全女の部屋に行き外から小夜子さん（ツルさんは一名小夜子と名乘っていた）と聲を掛けると初めのうちは入室を拒んでいたが遂に拒みきれずドアを開けたので飛込み無理心中だとツルさんを畝張の上に引倒して矢庭に兩手で扼殺した上庖丁で息を吹きかえさぬよう刺すべく庖丁を探したが、興奮、室外へ來る途中落したか見當らぬのでワイシャツの端切で絞殺死体に挑まんとしたが恐しくなり自分の部屋に戻りガーゼ樣の手拭で自ら首を二回にわたって絞め自殺を企て一旦は意識を失ったもの、再び覺醒更に三度目に全縊企てたが力及ばずこゝでは自殺出來ぬと觀念、驛前水戸屋旅館に宿泊中の友人から八百円を借りうけ三時五十五分平發の急行で上京、即記金城氏宅に立廻ったものである

暴行せず

死体解剖の結果

被害者根本ツルさんの死体解剖は現場檢證の後、二十一日午後三時から平病院で縣刑事部笠原警部補、菊地鑑識課長平地檢事後上席檢事、本田市署長等の立會いで執行されたが兇行は全日午前二時半ころと斷定された、一方暴行されていないことも證明された

インテリな犯人元得龍

私立東京高工出身

犯人元は十七歳の昭和十三年朝鮮より東京にいる父親を尋ねてはるゝ海を越えて渡日東京都神田區私立東京高等工業學校土木科に入學、卒業後東京都土木局深川出張所に勤務していたが終戰後勃興した朝鮮建國促進青年同盟東京總本部情報係につとめたが全年五月二月には土木局も退いて朝鮮建國促進青年同盟平支部執行、委員長に就任、活躍中、日頃の激務がたゝってか肺結核を病み昨年十月十日平病院に入院、本年二月委員長を辭したものである

生活醫療扶助を市から受けた元

今後の扶助打切り

看護婦殺しの犯人元得龍は昨年暮から生活扶助金四百七十四円同醫療費三千円を毎月市社會課より支給を受けていたが今度の兇行により市では同人に對し生活保護法第二條（素行不良なものに）該當するものとして今後は給附金を一切停止することになり二十五日に開かれる民生委員定例會にかけることになった

戀を物語る寫眞一葉

―◇二人の過程を雄辯に◇―

なお市署で犯人元原の部屋を捜査した處數多くの寫眞中被害者根本ツルさんが一人白ポプリンのツーピース姿も可憐に、あどけなく林の中に立っている寫眞が現われたが、その裏面に達者なローマ字で「小夜子」と署名し更に

私ね一枚しか持って居りませんの―それ差上げませうか？、私はもっていないからいやです、どうしましょうと根本さんの筆跡があり續いて元原の筆跡で

あゝ―汝を一時も忘れたことはない、アーメン

一九四八、三、一五

と寄せ書きしてあり若い二人の男女戀愛過程の一コマをのぞかせて關係者の涙をそそらせている

平地區予選代表決る

濱通り大會は二十八日から

第三回全日本國民体育大會平地區吹式野球豫選は二十一、二兩日平商、平工、市營三球場で開催、左の戒續で東商クラブ、東部石炭協會が平代表と決定、決戰は行はなかったなお濱通り大會は本月二十八九の兩日平工、市營兩球場で行う

◇準々決勝

東商ク1―0金江名（延長十二回戰）

腦炎ますゝ猛威振り

既に十七名でうち眞症決定五名

平保健所の調査によると二十三日までの日本腦炎患者は疑似、注意患者を含めて十七名となった、うち眞症日腦患者と斷定されたものは湯本町上町齋藤八重子ちゃん（九ツ）を始め

勿來町金子幸子（一四）豐間町下町四家一和（一四）内郷町高坂高橋一夫（五ツ）植田町新田綠川内一（一九）

の五名で植田町綠川君は二十三日に死亡している、更に四倉町松崎スミ子（一四）佐藤吉男（一一）さんの二名は疑似、内郷町三品正一（八ツ）山田村上山田鶴谷和子（六ツ）夏井村阿部守（二三）平市仲間町佐藤國昭（一一）さんの四名は正式に注意患者と決った

久ノ濱大久で腦炎予防―久之濱町では近村の大久村に馬の流行性腦炎（疑似）が發生し、また同町末綴四條水之助さんの緬羊が腰部痲痺を起したので各畜産家に蚊の驅除を行う標通知すると共に廿四日大久村役場で家畜の豫防注射を行う

トラックのタイヤ泥

車体は途中に放棄

十八日夜湯本町常磐炭鑛寶海自動車車庫から貨物自動車一台が盗み去られた、屆出で湯本署で捜査中綴街道堀坂附近にしかも後車輪のタイヤ二本だけを盗り車を放棄してあるのを發見した

短刀を所持で

二十二日午前二時半ころ湯本町宇寶海附近を徘徊中の全町常磐炭鑛鹿島鑛社宅坑夫金成安藏（二二）及び全す泉誠一（二二）の兩名は中澤刑事の不審訊問の際公渡り十八センチの短刀を所持していたので「銃砲刀劍等所持禁止違反」で湯本署へ

平市民の皆樣へ

此度當病院看護婦根本ツル殺害事件に際しましては尠からず御迷惑をおかけいたしまして誠に愼んでお詫び申し上げます

昭和二十三年八月二十三日

（平市十五丁目電八一二、六〇八）

日本醫療團平病院
院長　猪狩政雄
事務長　阿部隆幸

いわき寸言

◎戯に戀はすまじ、平病院の看護婦殺し娘さんたちによい教訓

◎平工高三年生の窃盗恐喝―結局社會と家庭の牛んだ罪、戒心〳〵

◎腦炎いよ〳〵猛威を振う、内閣諸公もかゝらぬよう御用心〳〵

御用は良心的の
茂木カメラ
平市平和通り

民報論壇

百鬼畫行の平市（上）

鈴木傳明

「百鬼夜行」といふ言葉がある―鬼は昔から大体よなゝく出て來ては惡を働いたらしいが平市の鬼共は白晝堂々の陣を張って横行している、例えばこゝに衆望をになってる警察署長がいたとしても鬼共の部合によっては忽ちクビになるのである。鬼共から睨まれたが最後善良な市民もどんな立場に追込まれるか分らない鬼共は常に會合してトラップ（落し穴、わな）を考究しているのだ

鬼とは民主化を防害する者共を謂うのである、最近の平市はど不明朗な町はない、市の民主明朗化を促進するために種々な會合が持たれている或る場あいに軍政部まで出張してこれに助力を與えてくれているに不拘、いつもそれは形式だけで取上げられた問題が具体化しない、何々討論會と銘を打って集りながら討論はさせず只「聽きおく」の態度が平市役所最高幹部の常である、「聽きおく」ならまだいゝ方で全然取りあはず市民の聲を堂々と否定し、そんな事は市民の聲ではないと斷ずる態度に出て來た事はまさにしない獨裁的の態度は批判せられずに濟む問題だろうか市長を補佐する重要な立場にいる阿部助役は市長公選のとき鈴木市長が市民に公約した數々の事項を知っているだろうか識らない筈はないが補佐面に何等現はれないところを見ると識っていても頬かぶりしているのだという卑劣さを市民に暴れても仕方はあるまい。豫算がとれたから市廳舍を建て、公會堂を市民に引渡す―なんてやり方が新鮮味のない官僚依然たる政策なのだ。鈴木市長選擧當時多くの市民は昔は「ゴマ辰」と異名をとったら つ腕家であったが最後の御奉公をしたいと熱望しているし年も相當だから必ず市民のよき指導者となり親しまれる「市民の良きおじいさん」となってくれるだろう事を期待して一票を投じたのだ。政治的には全く反對の立場にあった人達でさえそう期待し希望して彼を應援してくれた、その市長が一ヶ年余經過した今日、市長は公約を少しも實現せず一体何をしたという聲に對し或る人は一ヶ所の共同便所と最近出來た自轉車置場の建設だと答へる、まさかそれ二つだけが新市長の仕事である理ではないがそれ程に極言される理由が何かある筈だ、僕は學生時代から鈴木市長の政治家としての價値や思想的にどんな人かをよく識っていたので市長當選と同時に頭腦組織を作って新鮮味ある市政を强力に遂行する事を再三に亘って進言した、これは先輩に對する氣持からも一市民としても鈴木市長にいゝ仕事をやって貰いたい希望からであった、ところが彼及び彼等は僕の進言に對して反感さへ持って來たので最早市政については云々したり書いたりする事を止める考えでいたのであるが最近余りにも鬼共の横行が表面化し吾等の警察權までも侵蝕しはじめたので彼等の猛省を促すべく茲に再び雑文を羅列した次第である。

公安委員は必ずしも年齢者である必要はないが所謂、識者であり、「生の經驗を多く持つ事が第一條件である第三者であり、絶体的な公平なる第三者である人でなければならない、何故なら公安委員は相當强力な意人一倍民主的な人物を選べられる立場で、警察官の任免は相當强力な意見を述べられる立場で、警察官の任免は相當强力な意見を述べられる立場で、警察官の任免は相當强力な意見を述

正直者が馬鹿みぬように
署員にもつと微笑を持たせよ

署への務税希望

正直ものが馬鹿を見ないよう署員の奮起を要望するものが一番多い、次に豫定申告書が厄介過ぎるから簡易にせよと云うのも割と多い主な意見は

所得税決定には各業者と會合し等級を決めよ、通り一ぺんの説明では新税が次々とあるので了解に苦しむ、このために各方部別に適當な世話人を囑託して説明相談に應ぜしめるべきだ、

眺望甚だ良い二階の會議室は税務智識普及のため市民に度々開放せよ、更正決定の後で更に請求書が出るのはまずい

などを始め税務署はもつと街頭へ進出せよ、接客態度をもつと改善出來ぬか、署へ行つて見ると堅すぎる感が強いがもつと署員に微笑を持たせ署全体が軟かな感じのするよう努力して欲しい

新日本婦人同盟
きのう本社樓上で支部結成式を

新日本婦人同盟平支部發會式は二十二日午後二時から本社ホールに開かれた、本部からは齊藤きえ、鈴木貞子、宇川その三女史臨席、石城地方事務所視學委員鹽谷敏さんが發起人を代表して開會の挨拶を述べ、佐藤千枝さんから經過報告、本部の規約綱領を本部役員が説明、支部の規約を決定、役員選擧を後廻しにして本部書長代理の齋藤女史から「新日本婦人同盟は純然たる政治團体である」と性格を明かにして同盟運營上に亟し注意を喚起して祝辭を述べ、役員の選擧に移つたが、指名された酒井、金成両女史とも固辭して受けず、結局當分の間創立準備委員がそのまゝ運營に當り、方部的に設衝委員を選任して更めて會長を選ぶことになつた

記念講演は藤田本部會長、富澤有爲夫氏欠席のため中止、野澤本社長、福島民報運動支社長、鈴木傳明氏等の祝辭があつて閉會したが、同會の會員は既に二百名に達し、進歩的な婦人團体として今後の政治活動に期待をかけられている

教科用圖書展覽會
きようから一週間

文部省主催の教科用圖書展示會は二十三日から一週間平第三小學校講堂に毎日午前九時

石城稻門會
懇談會

早大勿來會と台同

石城稻門會と早大在學中の勿來會の懇談會は二十一日正午から本社ホールに約五十名會合、へき頭磐中出身の早大教授石井保武氏の文化映畫講演會があり一般の聽講もあつた終つて懇談會に移り全校出身の先輩鯛内代議士も臨席、種々歡談の上校歌「都の西北」を齋唱して盛會裡に午後五時散會した

市の公民館圖書室開店

市の公民館圖書室は公會堂二階特別室に今二十三日より開店した、備付圖書は四十一册でうち月刊雜誌は三十一册、まだ市民に開店が徹底していないためか閑散な第一日であつた、今後は一層のご利用を願いますと係員が市民へ呼掛けている

今後は必ず是正する
税務署の回答

回答者高橋署長

現在の處自分では公正な課税の方向に方策づけているつもりだ、今後も殊に本二十三年度分は各業者團体の多くの人々の公正な協力を得て當署の間違いを是正してゆきたい、豫定申告書はこれ以上簡易化するとかえつて解らなくなり疑問が續出すると考える、今後一般の申告納税の義務觀念も向上し、常識の一つとして考え勉強されても良いのではなかろうか、今の程度が最低である、所得税決定に就いては大藏省の方針もあるが、各業者團体の多くの人々の公正な意見による課税のパーセンチーヂを造つてもらい、これを當署の重要な參考意見として聞くつもりだ從來はとかくこの種意見が幹部等の數者の意見になり勝ちだつた缺陷を防ぎ全員の合議による意見に基ぎたい、新税の趣旨徹底は從來も各町村に係員を派したり新聞ラヂオ、街頭上のマイクの宣傳等あらゆる方法をやつて來たし、今後もつづける、團体からの申込があれば何時でも係員を派する、一階會議室はダンスパーティとか勞組連合會場とかには貸せないがその内容によつてはお貸しするつもりだ、更正決定の納税後に請求書がくると言うがこれは當方の間違いもあろうが大半は納税者の責任もある、即ち今年の申告書の二割が住所、氏名の記載がない仕末だ、又納税切符にも住所、氏名がないのが多く當方でも誠に困つている、こんなのは必ず後で督促狀が行くのだ、今後共かゝる事のない樣協力願いたい、窓口署員の態度は私の方でも良く注意する、時にはわざ〳〵私の處に來て署員をほめて行く方もあるが追々直していく樣努めましよう

市の加工水産物小賣店
◇當選店舗は四十九店◇

市の加工水産物小賣店の登錄は二十一日行はれたが當選店舗は次の如く決定した、なお落選した店舗は特に實績などを參酌して當選店へ繰込れるよう縣へ上申した

山部鮮魚店、カネ吉商店、鎌清、島橋商店、浦野和吉、三國屋商店、菅野商店、四ッ倉屋商店、正月屋、カネ八商店、平市生活協同組合、魚敎商店、茗荷屋商店、大堀商店、玉川商店、丸平商店、市原商店、稲崎商店、阿部商店、齊藤商店、エビヤ、平田商店、佐藤商店、小野崎商店、卜印、遠藤商店、酒井商店、佐川商店宮城海産、川上商店、鈴木鮮魚店、安藤商店、好澤屋商店、平共販八幡小路出張所、三井分店、黒澤商店、會津屋支店平共販、草野屋坂本商店、平共販、太須賀屋平共販、芳屋魚一、岩谷商店、上原商店、亀岡商店、柳内商店、福好商店、丸仙商店、田口商店、滝屋商店、

湯本町で赤ちやん檢診
優良兒は表彰する

湯本幼稚園で、參加者には民生委員會から參加記念賞として湯呑茶碗一個が出るほか、發育優良兒には一等(三〇〇円)から十等までの賞金と賞狀も出ることになつている

二萬圓懸賞の盆踊入選者
付の

風戸興行社、川鶴事業部主催の盆踊十五十六日の一万円懸賞盆踊りは假裝、唄、踊の三種に別名を決定した、なお特賞は無

配給薪が安くなります
縣燃料對策委員會の決定に基き

配給薪が安くなります一市で人氣の悪い大束ものを小束にして入荷することも出來るのでこれが實行について計畫中である

湯本町で赤ちやん檢診
優良兒は表彰する

最近日脳患者を出した湯本町では目下、全役場及診療所が主体となり防疫に全力を注いでいるが、更に先般公布された「兒童福祉法」の意義をこの機會に一層徹底させるべく來る二十六日午前一時より生後滿一ヶ年の全町の赤ちやん約四六〇名を對象として檢診を行うこととなつた、場所は

平工高三年生の惡事
少年補導に大きな示唆を與う

若き學生の犯罪がめつきり多くなつて來た昨今、再び市内に十六學生の窃盗、恐喝事件が發生、關係者は勿論子を持つ親のより一層の自戒と補導との今後のあり方に一問題を提供している、即ち平市内下川原平工業學校三年生(一六)は去る六月二日午前九時頃友人の平一中生吉村某君が鎌田村岡田精米所で精米機を借りて配給米を精米中油斷をみすましそのうち一升を盗み更に七月十三日同樣手段で同君より又白米一升を盗り正内町屠殺場番人成田アサ(三五)に百円で賍却、消費したほか、七月十五日午前十一時頃大町食糧公團附近で全町の伊東某(一四)を恐喝五十円を奪い更に八月二日には全君の自宅前で再び脅し家人の留守を幸いに十円を持ち出させていたもので去る二十日市警に檢擧されたもの

一映畫紹介一
金色夜叉大會
◇24日一世界館◇

先頃當地でも封切られた東横映畫「金色夜叉」前、後編を今度はお盆の一夜に上映されることとなつたがストーリーは紹介するまでもなく余りにも有名な紅葉山人原作「金色夜叉」の現代版本英吉内郷の三等五百円鈴木義雄(平)

◆踊の部◆二等千円鶴花江(平)◆三等五百円佐藤豐(四倉)◆渡邊豐子(平)◆四等三百円會田照子(平)五等二百円熊谷某(平)◆佐々木久子(平)◆清ノ家楠江(平)◆鎌木豐之助(平)湖月小里(平)◆六等百円安藤文江(平)◆三瓶ヤヂ子(草野)◆岡清子(平)◆渡辺シケ子(平)◆小野モト子(平)◆山田すみ子(平)◆のんき(平)◆石山某(平)◆宮本久(内郷)なお右のほか五等十四名六等三十四名となつている

◆唄の部◆一等三千円小林山人原作「金色夜叉」の現代版次郎(平)◆二等千円松譽、昭和の文豪武者小路實篤本英吉内郷◆三等五百円鈴木義雄(平)

◆唄の部◆一等三千円小林山人原作「金色夜叉」の現代版次郎(平)◆二等千円松譽、昭和の文豪武者小路實篤本英吉内郷◆三等五百円鈴木義雄(平)

◆踊の部◆二等千円鶴花江(平)◆三等五百円佐藤豐(四倉)◆渡邊豐子(平)◆四等三百円會田照子(平)五等二百円熊谷某(平)◆佐々木久子(平)◆清ノ家楠江(平)◆鎌木豐之助(平)湖月小里(平)◆六等百円安藤文江(平)◆三瓶ヤヂ子(草野)◆岡清子(平)◆渡邊シケ子(平)◆小野モト子(平)◆山田すみ子(平)◆のんき(平)◆石山某(平)◆宮本久(内郷)なお右のほか五等十四名六等三十四名となつている

一映畫紹介一
デコボコ
スパイ騒動
◇24日一聚樂館◇

「お化騒動」「寶島騒動」で騰く知られた、でこぼこコンビ、バット、アボット、ルーコステロの昭和十七年度第三回作品、こんどは舞台を第五列横行するテキサスはホテル、リオを中心に謎の暗號書をめぐつてこの名コンビが數々の笑いをふりまきながら大活躍する、その裏に名花一輪カスリン、グレイスンが初登場して可憐な色彩を與えているほかテナー、ジョン、キャロルがその戀人の歌手リカード、モンテラにふんして「リオ、リタ」他數曲を歌つている、とかく從來の「でこぼこもの」に比し、迫力もあり面白味も深く娯樂映畫としては見こたえがあろう

一映畫紹介一
駒鳥夫人
◇二十四日一平館◇

名門の令嬢美也子(水戸光子)は駒鳥の美しくさいづる敎習の庭で祕に結んだ雷家後宮(佐分利)を無謀な戰爭にとられ、あまつさえ戰死の公報まで受けとる、戰終つて平和のかぞつたこの世間に已れをなぐさめてくれたのはかつて密かに自分を戀し、それ故にこそ自ら身を引いて後宮の妹(高杉妙子)と結婚戰爭と共に帰國の魔手に捕われた雜誌記者藤本春樹(宇佐美淳)であつた、歸宅早々妻を失つた藤本と美也子が信州に戻り清い友情の下に助け合つている時、死んだはずの後宮がコツ然と現われ、この有樣を見て一時は怨るが、折柄のあらしに土堤を決潰した怨濤の中に眞の友情を見出して誤解をとき、再び駒鳥のさいづり渡る信州の野を後に美也子と共に上京する、『愛染かつら』で鋭つた野村浩將が、ラヂオで好評をうけた菊田一夫のこの作で再び一般の人氣さらおうとしたが觀客の觀賞レベルの向上した今日果してどれだけうけるであろうか。他に村田知英子、飯田、河村のベテランが助演している

勞組を食う
元日曹赤井鑛の青年部長くずれ

勞働組合專間に稼いだ詐欺男元赤井日曹炭鑛勞働青年部長秋田市生れ無職宮越忠一(二二)は一十日電産平分會青年部員に化の皮を剥れ平市署に突き出された、今人は本年三月ころ全炭鑛から離職したにもかゝわらず各勞組を訪れては自分は平石炭局勤勞課に務めていると詐靜して一百円、二百円と小遣錢稼ぎをしていたもので去月は小名浜高女から音樂鑑賞會を騙併するからとその前金三千三百円を詐取した、今後は一層のご利用を願いますと係員が市民へ呼掛けている

一映畫紹介一
逢びき
二十四日から
平東寶で

二人の子供と夫とを守つて靜かな生活に滿足していたローラ(シリア、ジョンソン)は毎週木曜日毎に翌週分の食糧を求めに町へ出る習慣になつていたが、ある木曜日、町の喫茶店でフトしたことから中年の醫師アレック(トレヴオア、ハワード)と知り逢う、そして次の木曜日、又、木曜日と偶然の逢うせが、時折の邪魔者にさえぎられながらも何時しかほのかな戀愛に移つていく、しかし互に夫を、妻を持つ身であつてみれば所詮かなわぬ戀である、アレックは自ら身を引いて二度と逢い得ぬ南アフリカに旅出つことになりその最後の『逢びき』を憶い出の喫茶店の一偶に求めたが、こゝでもおシヤベリな友人の出現で互いの眞意も打ち明け得ず寂しく別れてゆく……戀愛と言うには余りにも淡い自制に満ちた感情交流だがデヴット、リーンの纖細な演出はこれを單なる中年者の戀愛遊戯に墮させず誠實なふん圍氣をかもし出して成功している唯、回想風に始まる滑り出しは一見、米流的なガサツさを感じさせるが場面のすゝむに從つて英國物特有の重厚さを示したのはさすがである、中年紳士向きの氣品ある昭和二十年度作品

明治の文豪紅葉山人の名作の現代譯
御熱望により再び登場す
戯曲化　武者小路實篤
監督　マキノ正博

金色夜叉大會

上原謙、藤夕起子、古川ロッパ
大日方傳木暮實千代、デイッタミネ
豪華メンバーの大競演

二十四日より平東寶

駒鳥夫人

水戸光子、佐分利信、宇佐美淳
高杉妙子、村田知英子　共演
(松竹超大作品)

二十四日より平館

逢びき

しみ〴〵と胸をうつ人生の悲哀
名匠ノエル、カワード總指揮
監督デヴイット、リーン
シーラ、ジョンソン、トレヴオア、ハワード主演

平東寶

◇二十四日より三十日まで◇

ゆく春の哀愁を秘めて
霧の歩道に捨てた
美しき夫人の行きずりの戀

逢びき

二十四日一平館

産婦人科
齊藤醫院
院長　齊藤正雄
平市南町電九〇二
◇入院室完備◇

灰皿

二十二日夜十一時ころ小川丸通支店長森本勝治さんが平驛待合室で握り飯一つもたない兄妹らしい男と女の子を家出と睨んで平市署へ連れて來て調べたところ、家に相違してこの二人は好間村北好間字堂平、平炭鑛に勤める義人さん一男新制中學校三年生高橋信義君(一六)二女小學校六年生松枝ちゃん(一四)と判り全日三時ころ千円もち出して無斷で家出したもので東京神田にいるという叔父さん方へ遊びに行く途中と判つたが、もち出した千円は既に市内で繪本やりんごなどを買つて七百円殘しているのみに驚いて本さんいまどきのコドもはネエ!と目をパチクリ